

第23号

発行日
2020. 11. 15

Super Highway

JR東労組バス関東本部



JR東労組ホームページ

申3号

年末手当等に関する申し入れ第2回交渉 ①

<現状認識>

<組合>

- ①増収面では列車代行輸送・オリパラ輸送・ワクチン輸送等を担い収入を上げてきた。
- ②コストの削減に関しても、全社員の努力で成果が出ている。
- ③第2四半期決算は対前年に比べ回復傾向にある。この間の全社員の努力・奮闘による結果である。
- ④年末手当が組合員・社員のモチベーション

<会社>

- ①②この間の奮闘に関して感謝申し上げる。列車代行・オリパラ輸送・ワクチン輸送等、組合員・社員の協力に対する評価を年末手当に入れることは検討材料の一つとしてある。
- ③対前年と比べれば赤字は少なくなっている。しかし9月期は約3億の赤字であり、毎月同じくらいの赤字となっている。厳しい状況に変わりはない。今後の経営状況を見定めながら、どの様な形で示すか結論に達していない。

組合員・社員のみなさんから届いた声の一部を会社に訴えました！

職場現実・生活実感について

<組合> 生活は以前よりも厳しい、会社への不満の声も上がっている！

- ・減収により娘の通学定期が買えないため、自転車で通学させている。
- ・月の月給も未だに戻らず毎月生活が厳しく、貯金を崩しながら生活している。これから先希望が持てるようなボーナスが出る事を期待したい。
- ・赤字なのに役員報酬はあるのか？
- ・生活も苦しく貯金を削りながら何とか生活しているが、もお限界。
- ・お金を借りた。もう借りられない。会社が赤字だというのは分かるが、社員の事をもっと考えてほしい。
- ・物価が高騰しているので、生活が厳しい。ガソリンも高くなり通勤するのも厳しい。
- ・ボーナスに頼って生活していたので、このままいくと生活できない。ガソリン代も払えず通勤できなくなる。
- ・会社は生活が苦しい社員の離職に対する危機感はあるのか？

次へ続く